

第 66 回町村議会議長全国大会
荒木泰臣 全国町村会長祝辞

本日ここに、第六十六回町村議会議長全国大会が開催されるにあたり、全国の町村長を代表し、お祝いのご挨拶を申し上げます。

はじめに、町村議会議長の皆様におかれましては、常日頃から、住民福祉の向上と地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに対し、心から敬意を表しますとともに、全国町村会の活動に対し、ご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

私たち町村は、いつの時代にあっても、先人から受け継いだ農山漁村の暮らしや、多彩な自然、伝統・文化を守り育てるとともに、食料・エネルギーの供給、水源涵養、国土の保全、都市と農山漁村の交流など、国民生活にとって欠くことのできない極めて重要な役割を担い続けております。そして、私たちは、地方自治の最前線で、住民自治・団体自治の現場を守り抜く両輪として、様々な課題を乗り越えてまいりました。

しかしながら、近年においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、自然災害の頻発化・激甚化、現在の国際情勢や急速な円安の進行に伴う経済の低迷、物価高騰など、私ども町村にとっても厳しい状況が続いております。

このような中、政府において先月二十八日に、財政支出三十九兆円、事業規模七十二兆円に上る「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が閣議決定されました。この経済対策は、エネルギーや食料品等の価格高騰に対する生活者や事業者への支援、コロナ禍からの需要回復や地域活性化、感染症対応の強化、国土強靱化など、多岐に渡っており、国民の生活や地域経済を下支えするものであり、私たち町村にとっても大変心強いものであります。また、これから年末に向けて補正予算の審議、来年度の予算編成、地方財政対策という極めて重要な局面を迎えます。全国

町村会といたしましても、政府に対して、早急かつ確実な実施を要請していく所存であります。

将来のわが国を見据えるとき、人口減少・少子高齢化が進展する中で、希望を持って子や孫の世代に継承できる国づくり・地域づくりが、今まさに求められております。町村が自主性・自立性を発揮し、地域活性化や地方創生にしっかりと取り組んでいくためには、何よりも財政基盤の強化が不可欠であります。安定した財源の確保、とりわけ地方交付税総額をはじめとする一般財源総額の確保が重要です。本会といたしましては、全国町村議会議長会の皆様とともに、一丸となってこうした課題に取り組んでまいりたいと存じますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、この大会が実り多き成果を上げられますとともに、全国町村議会議長会のますますのご発展とご列席の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和 4 年 11 月 9 日

全国町村会長 荒木 泰臣